

新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 11月22日～11月28日

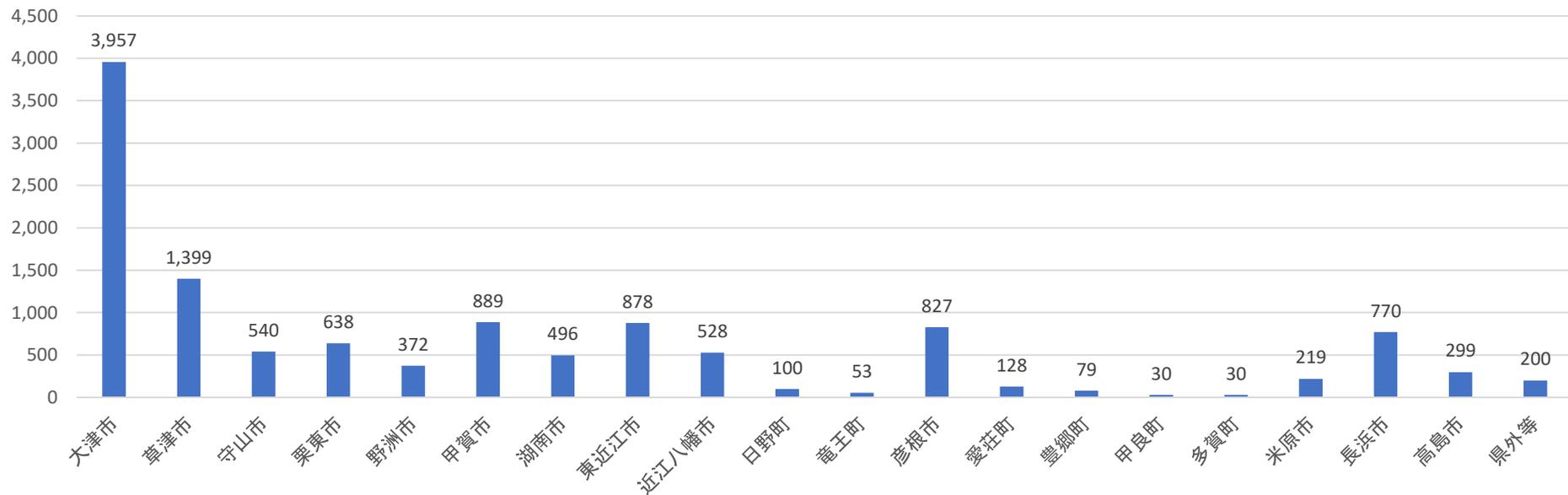
11月30日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

1) 県内の陽性者発生状況

	新規感染者数
今週の報告数(11/22~11/28)	0人
累計(11/28時点)	12,432人

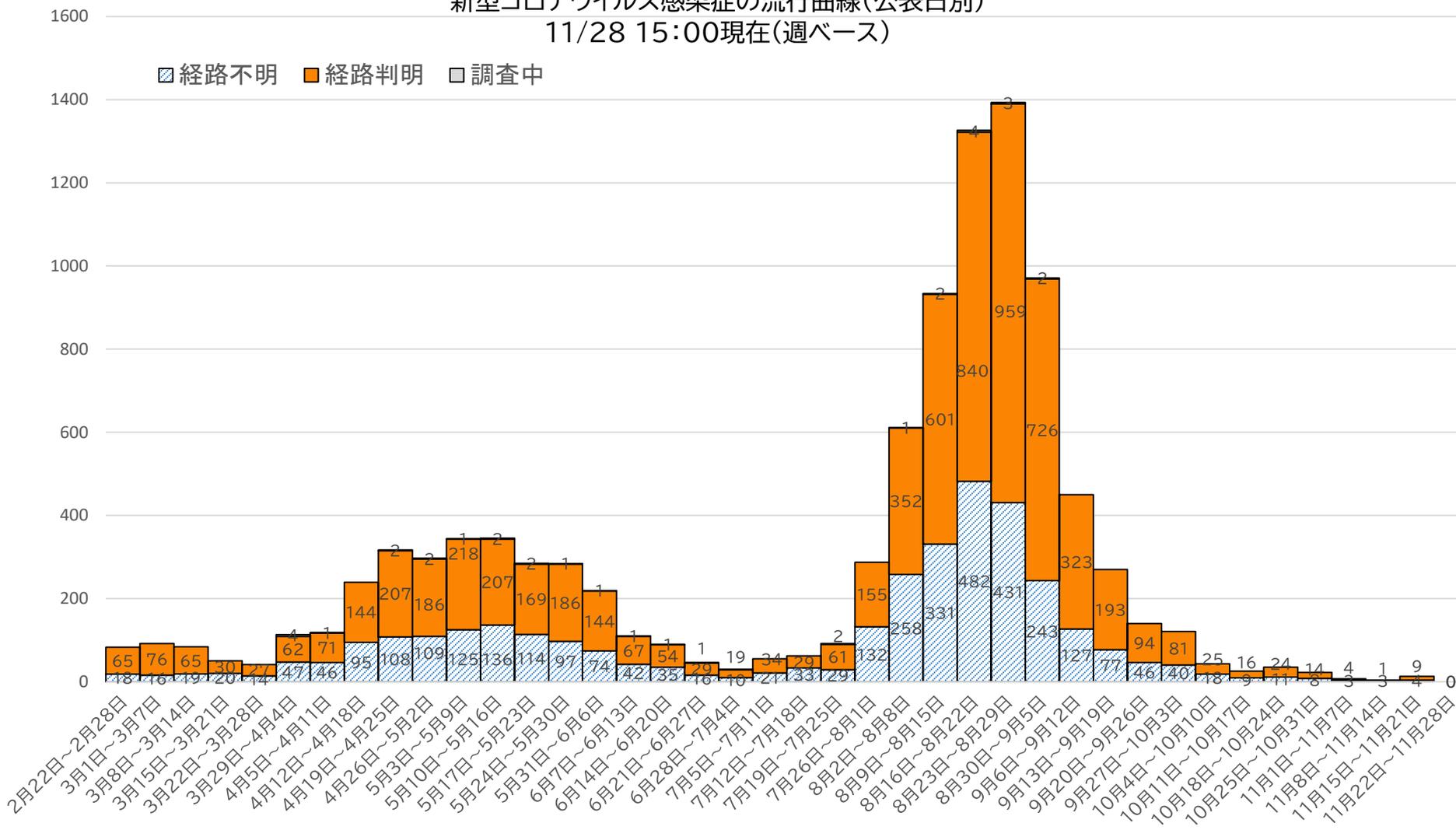
2) 市町別の累計陽性者発生状況



3) 県内の感染動向

① 流行曲線(公表日別)(11月28日現在)

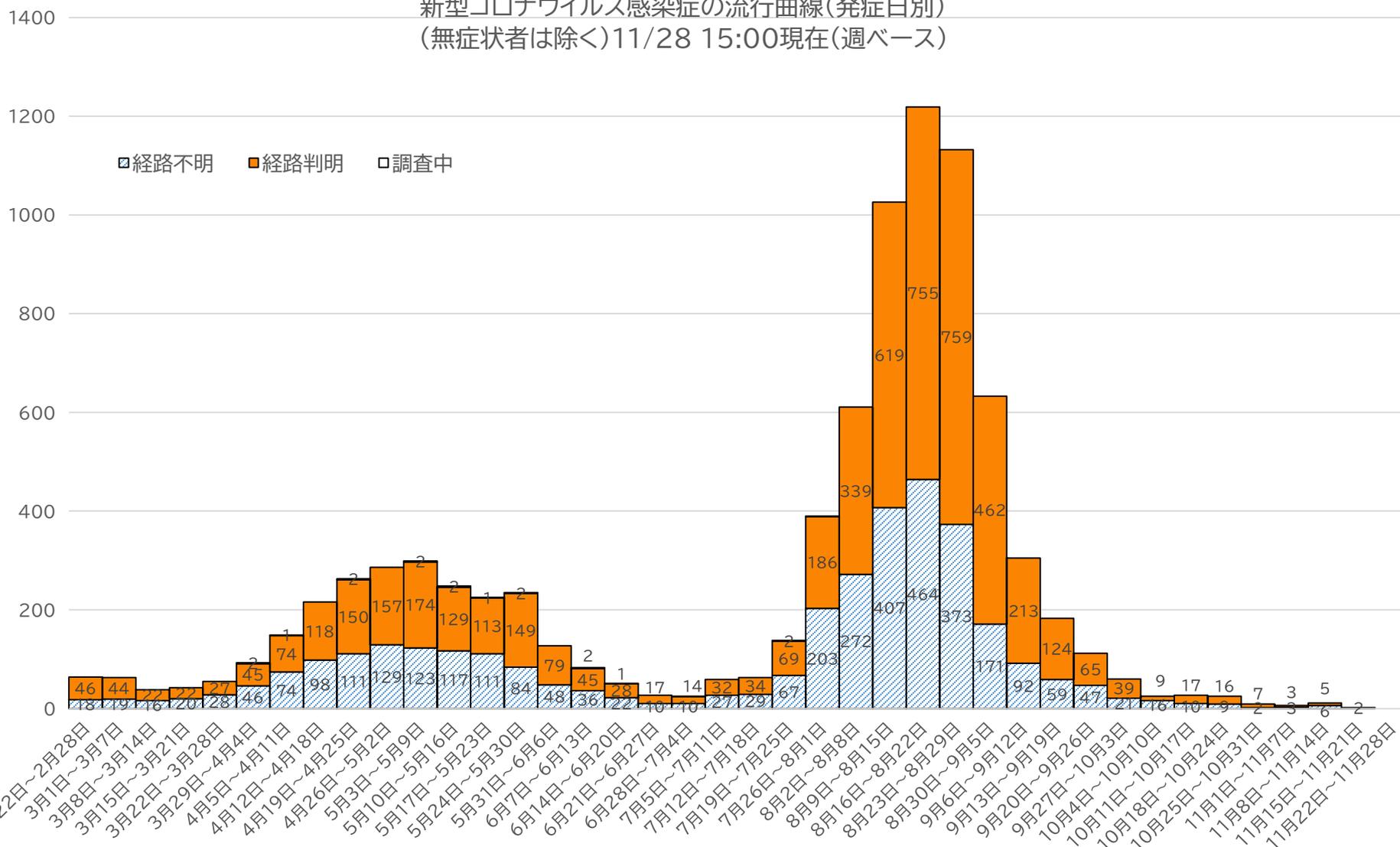
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(公表日別)
11/28 15:00現在(週ベース)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)(11月28日現在)

新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く)11/28 15:00現在(週ベース)

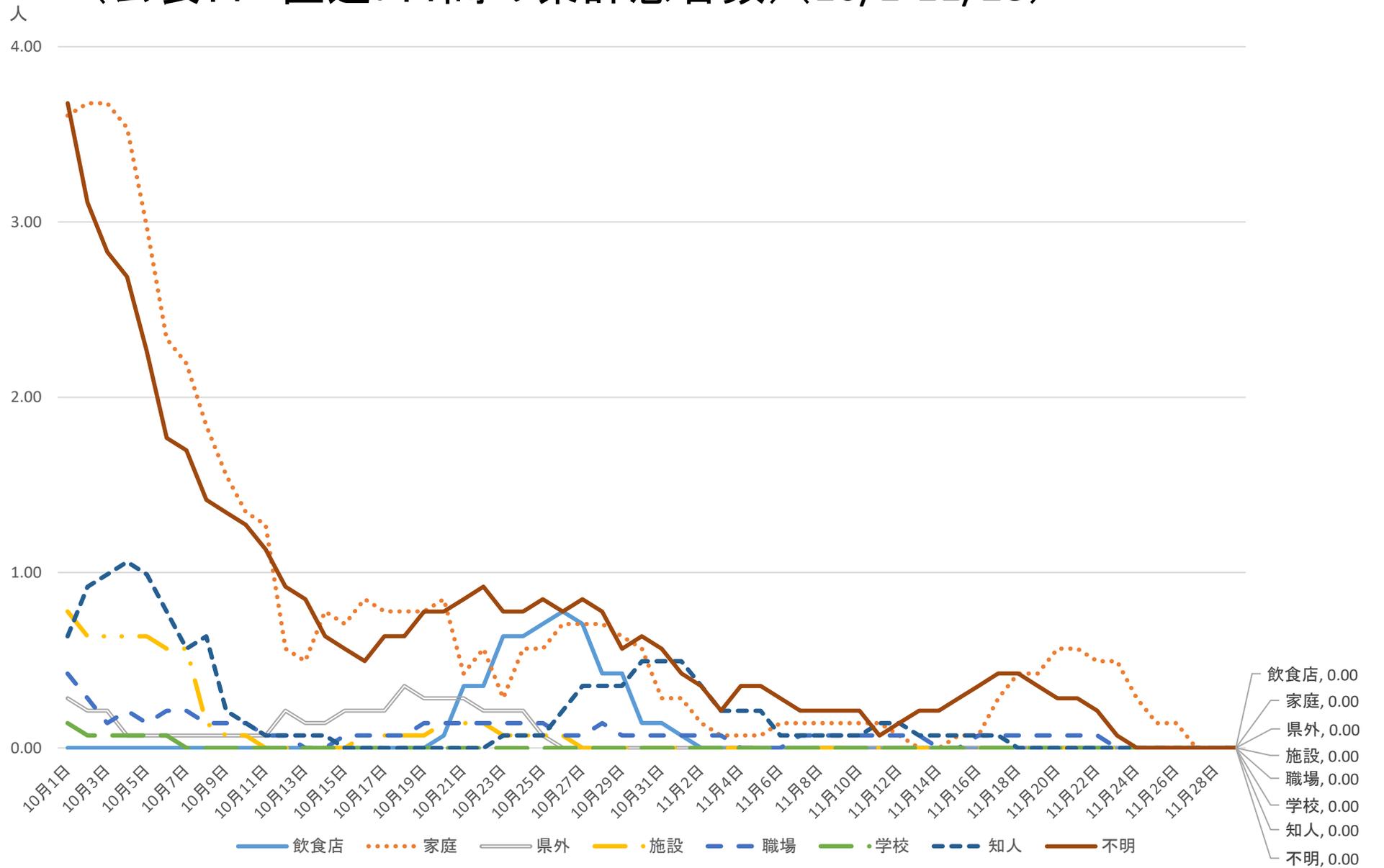


注)無症状者を計上していません。今後11/28以前に発症した患者が届出されることがあります。

5)陽性者の感染経路(10万人あたり)推移

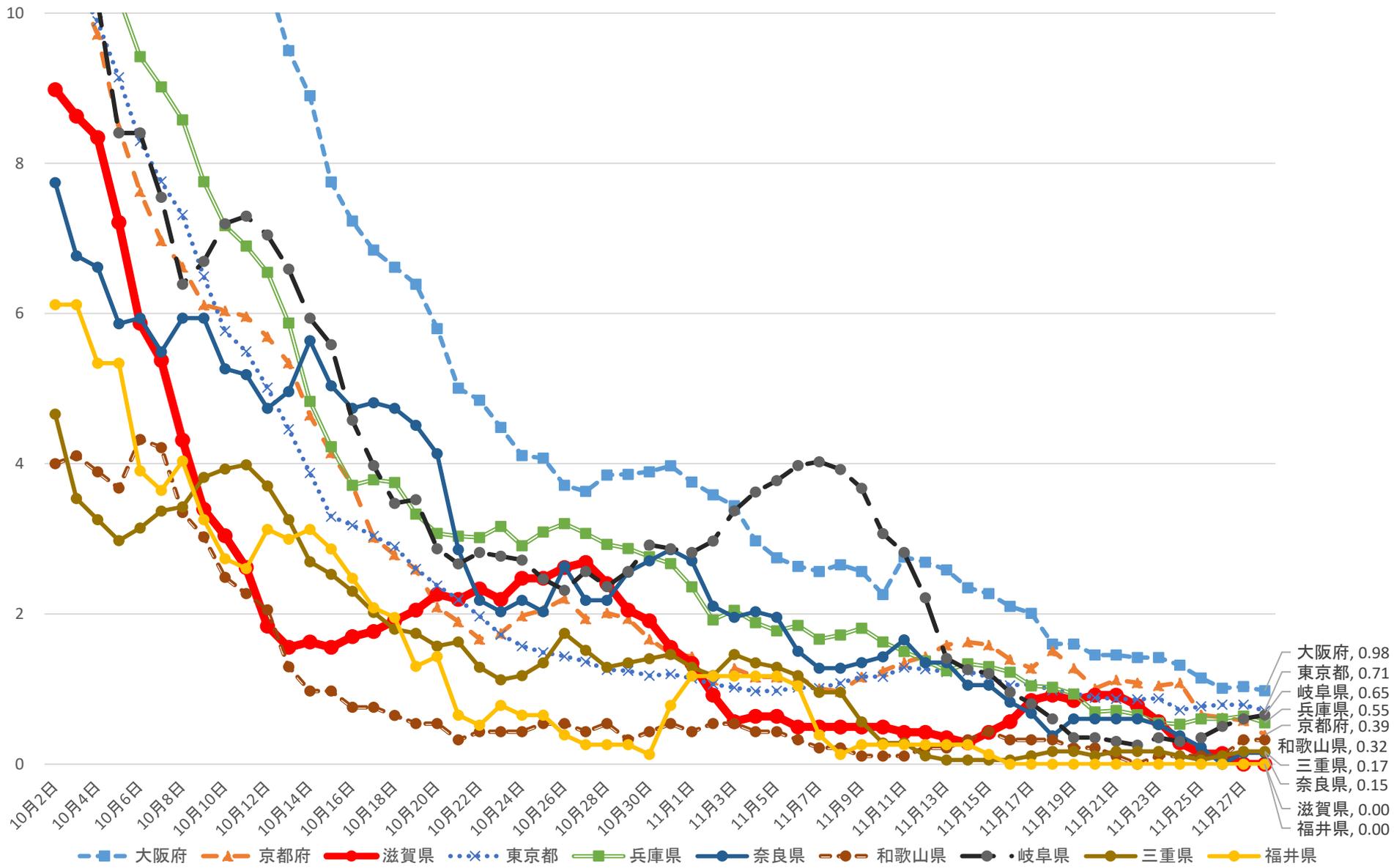
(公表日 直近7日間の累計患者数)(10/1-11/28)

(調査中除く)



6) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移

(直近7日間の累計患者数)(10/1-11/28)



2、県内の感染状況と体制について(11/28現在)

1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数	入院者数			空床数	県内 宿泊療養 部屋数	療養者数				空数
			県内発生	その他			療養者数	県内発生	その他	清掃・修理待ち	
総数	441	6	6	0	435	677	0	0	0	13	664

2) 県内の陽性者発生状況

項目	陽性者数累計	現在 陽性者数	入院中						入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			重症	中等症	軽症	重症	中等症	軽症				
PCR検査数 (うち行政検査分 (うちその他検査分	191,499 72,602 118,897)	9	6	0	1	5	3	2	12,319	104		
	12,432										(うちPCR検査判明分 9,005)	(うち自宅待機 0)
抗原検査数	92,016 (うち抗原検査判明分 3,427)						(うち自宅療養 3)					

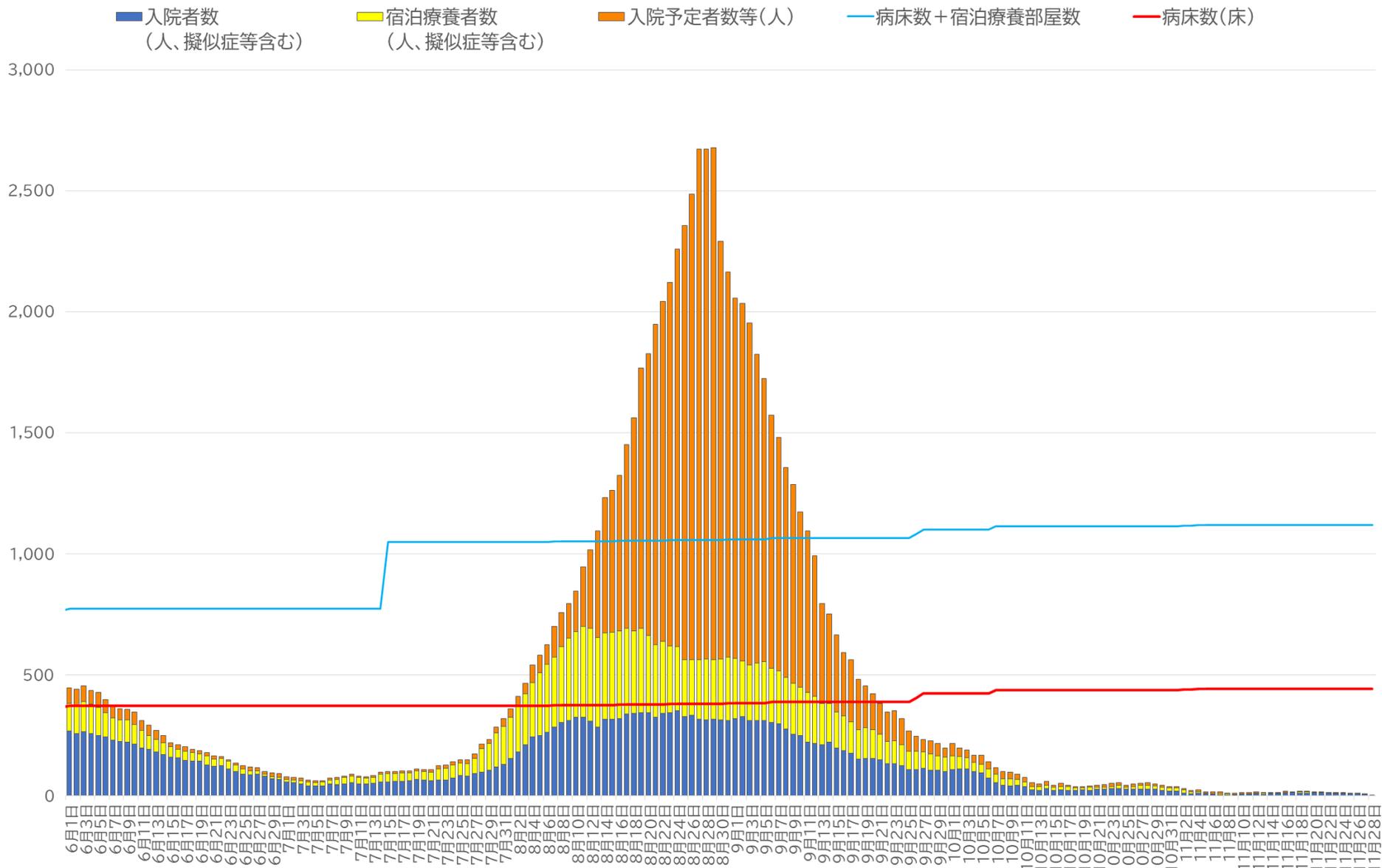
重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺) が必要

中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

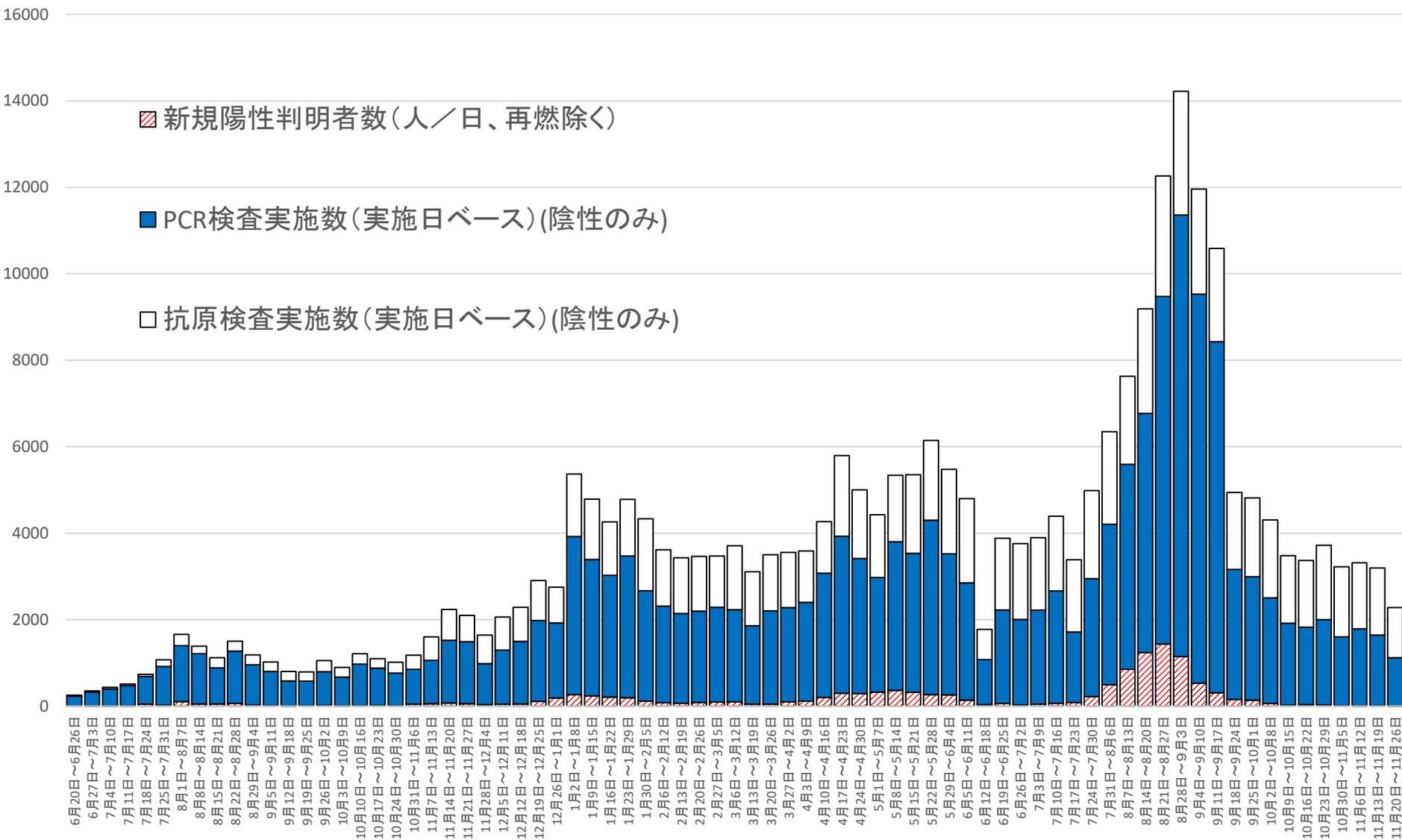
軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

重症者以外のICU(集中治療室)利用者数
0人

3)入院医療体制について



4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



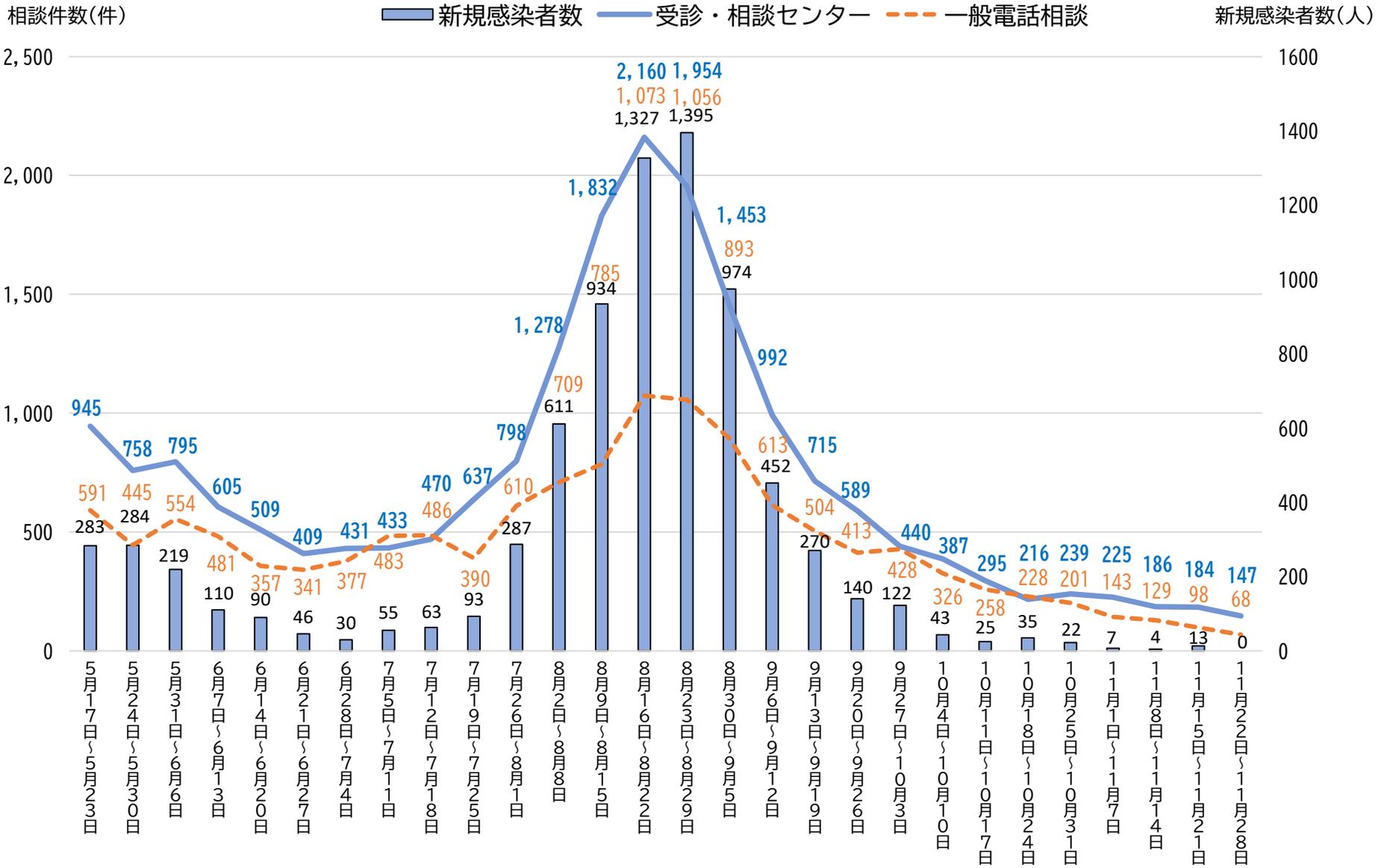
5)陽性率(7日間移動平均)



- 陽性率の7日間の移動平均(その日までの7日間の平均)を見ると、11月26日現在の陽性率は0.1%でした。

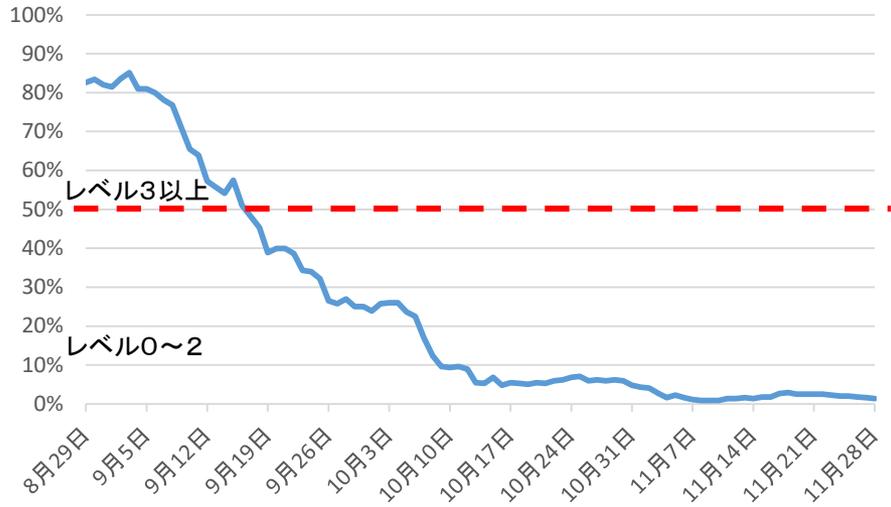
6) 相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）

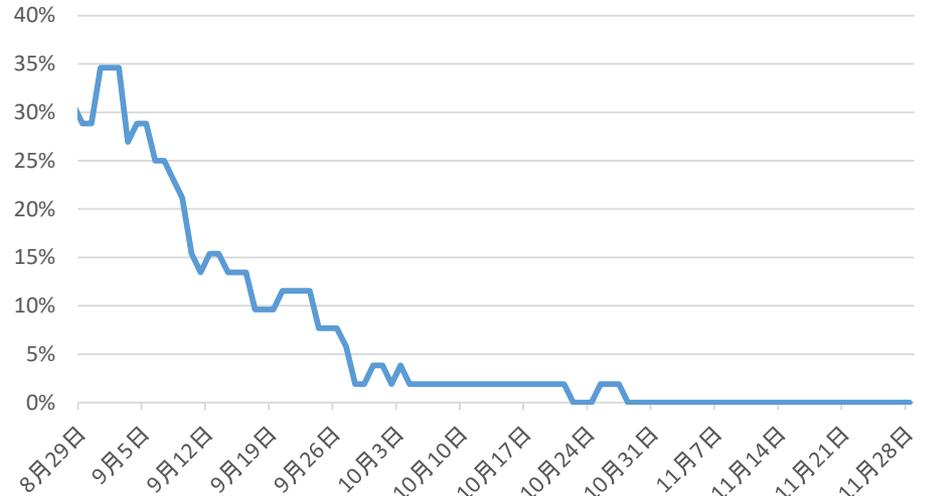


7) その他の県内の感染動向

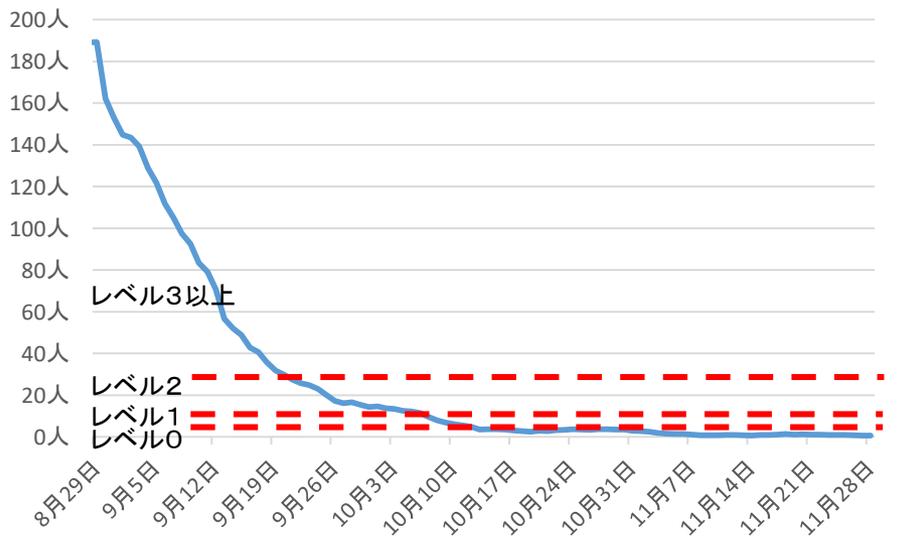
最大確保病床の占有率



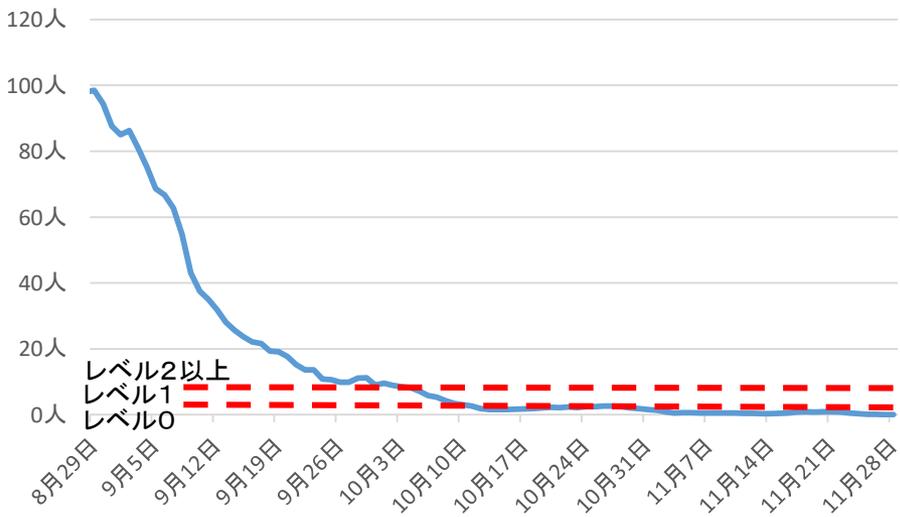
重症者用病床の最大確保病床の占有率



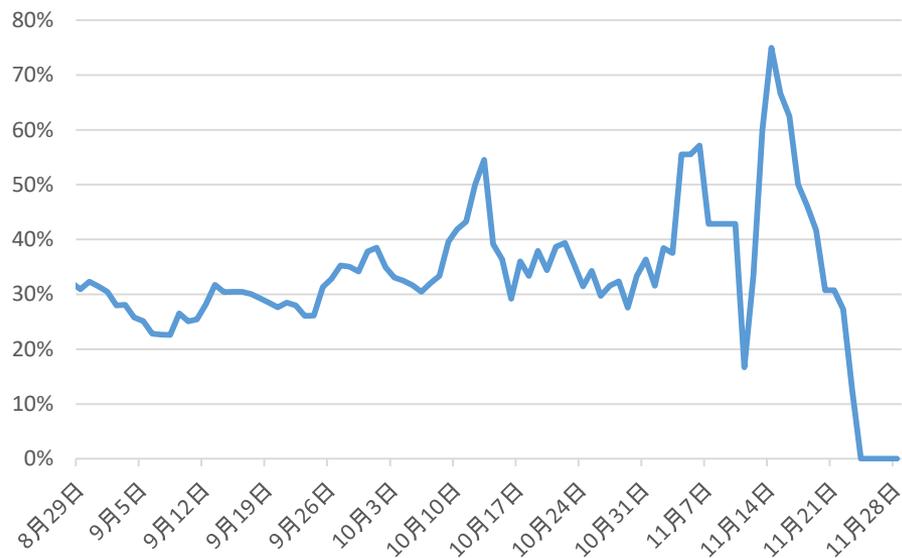
人口10万人当たりの全療養者数



直近1週間における人口10万人 当たりの新規報告数



感染経路不明割合



評価(11/22~11/28の感染状況)

- 本県の今週の新規陽性者数は0人となり、11月21日から新規陽性者が確認されていない状態となっており、低い水準を維持しています。他都府県の状況を見ても、東京都や大阪府などの都市部を含めてすべての都道府県で低い水準で推移しています。
- 11月28日、国立感染症研究所は、南アフリカ等で感染が確認された「オミクロン株」を「懸念すべき変異株」と位置づけました。十分な情報が得られていない状況にはありますが、感染・伝播性の増加、ワクチン効果の低下等が懸念されており、新たな情報について注視していく必要があります。
- 感染対策としては、従来と同様に基本的な感染対策の徹底が必要です。
- ワクチン・検査パッケージの試行やGo To Eat再開など社会経済活動の活発化が少しずつ見られています。これから忘年会やお正月休みなどさらに社会経済活動の活性化が想定されますので、継続して基本的な感染対策を徹底してください。
- 特に年末に向けて、「いつも一緒にいない方」との面会や会食の機会が増えることが想定されますので、特に対策が緩まないように注意してください。また、気温が低下し屋内での活動が増加することも想定されますので、十分な換気を行うなど、密を回避する対策を徹底してください。